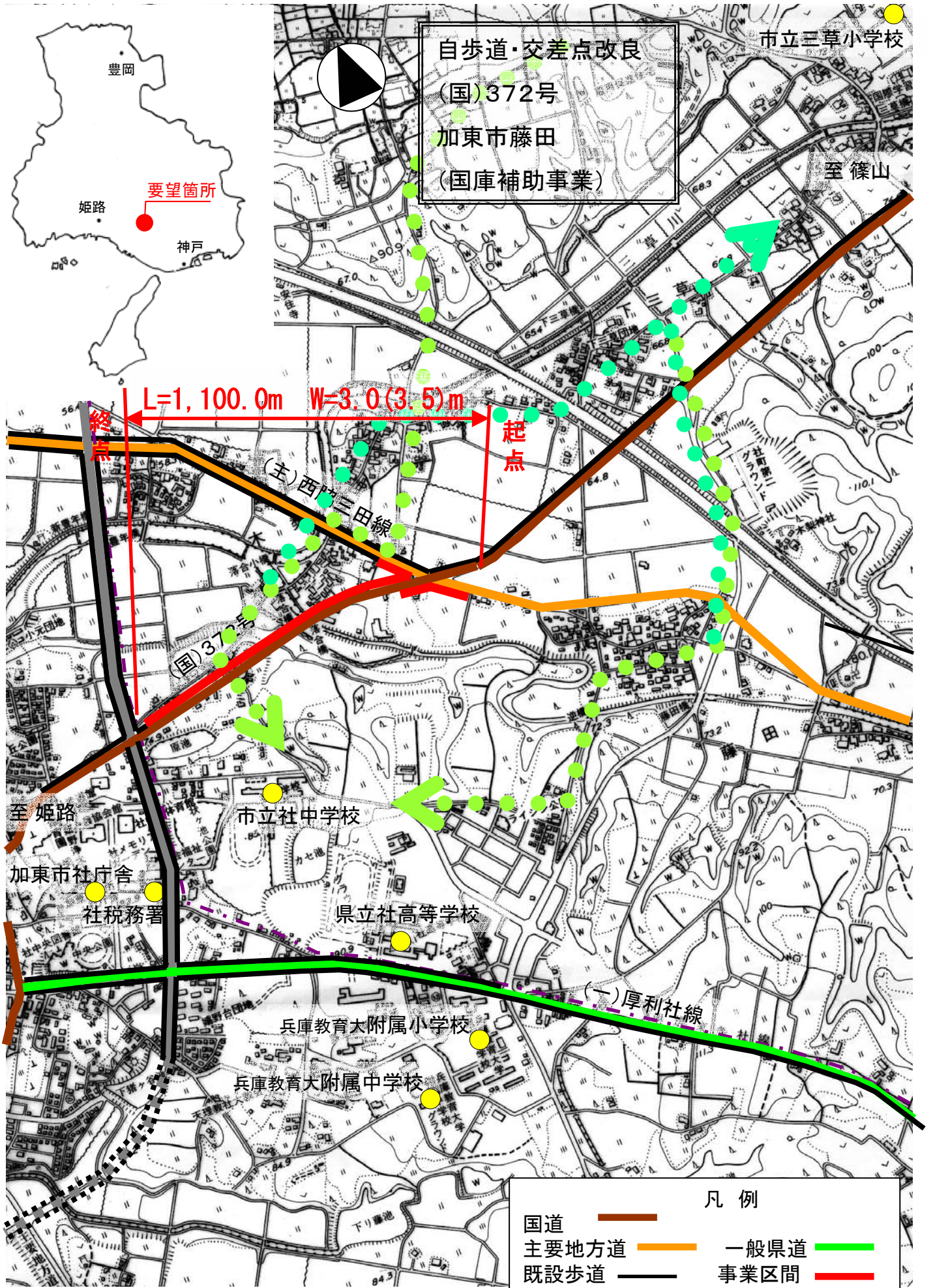


投資事業評価調書(新規)

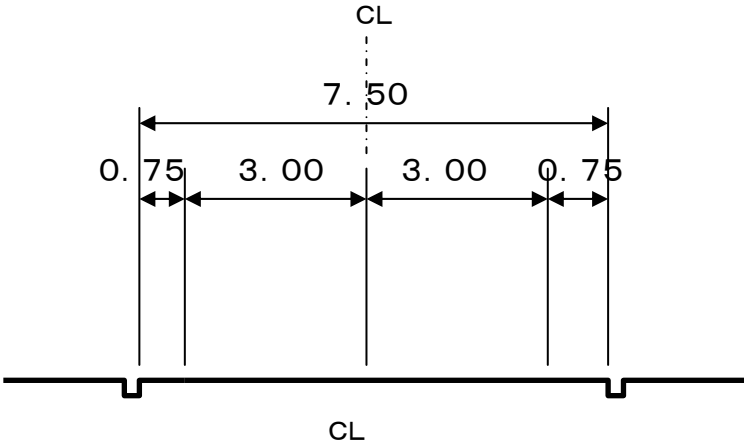
課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (中尾 兼人)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 6.8億円 (内用地補償費約 2.7億円)
		交通安全施設等整備事業 国道372号	加東市藤田		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
加東市藤田				平成20年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・ 自動車交通が多く危険性が高い当路線において、歩道の整備を行い、歩車分離を図ることで交通安全対策を推進する。 ・ “つくる”から“つかう”の観点から、藤田交差点の改良(右折車線の確保など)を行い、交通安全対策を推進する。			歩道整備 L = 1, 100 m W = 3.0 m (3.5 m) 現況 歩道なし (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1) 必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤田交差点は、篠山方面からは社市街地と中国道ICへの分岐点である上に、社方面からは篠山方面と三田方面への分岐になっている。しかし、極端な変則交差点となっているため、右折車両と直進車が錯綜する危険な交差点となっている。(交差点に関わる車両事故4件/3年) ・ 歩道が整備されれば、中学校の通学路となる(新たな利用が期待できる交通量:歩行者46人、自転車402台) ・ 小学校中学校の通学路になっている市道は幅員も狭く、通学時には歩行者と自動車が錯綜するなど危険な状況にあるため、(国)372号に自歩道を整備することにより、歩車分離された安全な通学環境を創出することが必要である。 ・ 自動車交通量が多い (自動車7,079台/日、歩行者1人/12hr、自転車3台/12hr) ・ 大型車混入率18.1% ・ 過去5年間の交通事故(11件)が発生している。(歩行者自転車に関する事故は3件) ・ 死傷事故率(65.2人/億台km) ・ 連続性の確保:起点側(藤田交差点)W=2.5m(3.5m),終点側(木梨交差点)W=2.5m(3.5m)。(国)312号社BP W=3.0m(4.0m) ・ 藤田交差点においては、歩行者の溜まりが設置されておらず、歩行者は現道路上にて信号を待つ形となり危険な状態となっている。 			
(2) 有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者、自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・ 付加車線を設置することで、直進・右左折車両の分離ができ交差点内の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・ 円滑な用地取得に向けて、地元の協力体制等事業執行環境が整っている。 			
(3) 環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道舗装に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境に優しい構造とする。 			
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧社町長からの歩道整備に関する要望書あり 			

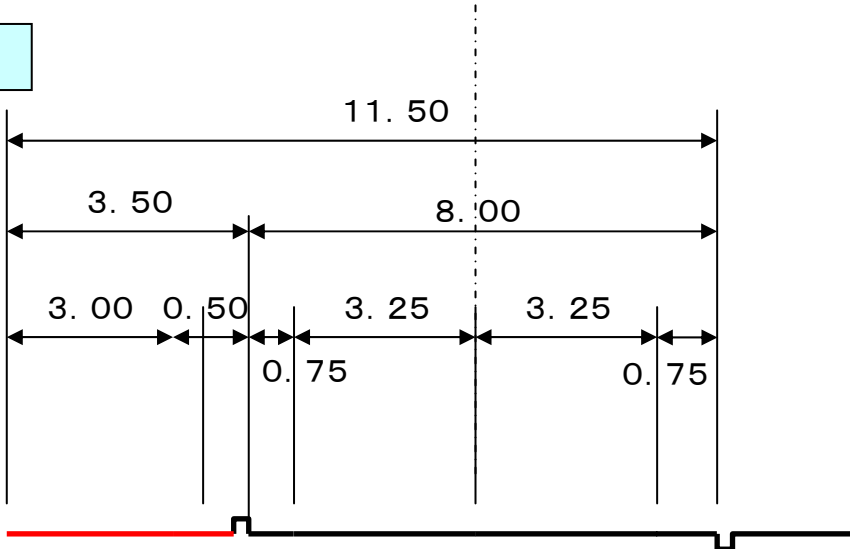


標準横断図

整備前



整備後



工程スケジュール

工種	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度			
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
歩道詳細設計	■																			
丈量測量	■																			
物件調査	■				■															
用地買収	■				■				■				■							
交差点改良	■																			
橋側歩道橋									■											
歩道設置					■				■				■							

現況写真（起終点部）

起点部



終点部



通学状況写真



現況写真（藤田交差点）

